

1981. 1. 17

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 223

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目

1. 出張利用者旅費申請の受付け締切りについて…………… 1
2. 昭和 56 年度利用申請方式の変更について…………… 1
3. AD 変換の利用について…………… 2
4. ALPH, NIHON ルーチン仕様の訂正について…………… 2
5. 日本語情報システム JEF の TSS による利用について…………… 3

1. 出張利用者旅費申請の受付け締切りについて

本年度の利用者旅費申請書の受付は、年度末整理の都合上、2月28日をもって締切りますので3月までに出張利用を計画している利用者は、早目に申請書を提出してください。

なお、期限内であっても予算額を超過する場合は締切ります。

(会計掛 電 (内) 2504)

2. 昭和 56 年度利用申請方式の変更について

昭和 56 年度利用申請は、事務手続きを迅速に行うために、OCR を利用することになりました。このため、来年度の利用申請は、新規申請および年度更新申請いずれの場合も従来の申請書のほかに OCR 用の利用申請シートを提出していただくことになります。申請書および申請シートは従来どおり連絡所・地区協を通じて提出して下さい。

申請期間は下記のとおりです。

1. 新規申請 3月16日(月)より開始
2. 年度更新申請(年度更新申請とは身分、電話番号以外の申請内容が同一で引き続きセンターを利用する場合である。)

4月1日より利用する方 } 2月1日～2月28日
データセットを引き続き利用する方 }

その他は昭和 56 年度内(昭和 57 年 1 月 31 日まで)

なお、課題の年度更新申請に当っては計算機利用報告書を添付することを忘れないで下さい。また、科研費で利用している課題の年度更新申請は受付けません。

(共同利用掛 (電) 2515)

今回の問題はALPH, NIHONルーチンをCPRによってデバッグし、プロッタで確認しなかったために生じたものです。ALPH, NIHONともHCBSのために作ったのですが、PSPでも動作します(文献[1]には明記していない)。もし、仕様どおりにプログラムを修正するとこの性質が損われますので、プログラムの方には手を入れません。また文献[2]には下記のような誤りがありますのでお詫びし訂正いたします。

ページ	行	正	誤
190	上から16行	整数型	実数型

参考文献

1. 松尾, 佐井 英文字作描ルーチンALPH, 九大大型計算機センター広報, 13, 1, 1980, 51-53.
2. 松尾, 佐井 日本文字作描ルーチンNIHON, ibid, 13, 2, 1980, 189-220.
3. 松尾ほか センターのプロッタシステム, ibid, 12, 3, 1979, 171-209.

(ライブラリ室 (電) 2523)

5. 日本語情報システムJEFのTSSによる利用について

現在使用できるJEFのソフトウェアについては、文献[1, 2]でお知らせしましたが、今回、これらの処理をTSSのできるように、以下のコマンドを用意しました。

1. NLISTコマンド

1) 入力形式

コマンド	オペランド
NLIST	データセット名 [COLUMNS (カラム幅)] [LINES (ページ行数)]

2) 機能

FDMS (和文エディタ) で作成した日本語保存テキスト (ソースイメージ) の内容をNLPに出力する。

3) オペランドの説明

データセット名: 日本語保存テキストのデータセット名を指定する。完全修飾名指定も可。区分編成の場合はメンバ名も指定する。

COLUMNS (カラム幅): NLPに出力する際のカラム幅を指定する。省略時は最大値132桁ととられる。カラム幅の中に参照番号も含むので、指定の範囲は $15 \leq \text{カラム幅} \leq 132$ とすること。

LINES (ページ行数): NLPに出力する際の1ページあたりの行数を指定する。省略時は最大値64行ととられる。

4) 使用例

保存テキスト KANJI のメンバ EX1 の内容を NLP に出力する。ただし、出力カラム幅、出力行数をそれぞれ 60 とする。

NLIST KANJI (EX1) C(60) L(60)

2. { NFORMAT
NFORM } コマンド

1) 入力形式

コマンド	オペランド
{ NFORMAT NFORM }	データセット名 [SYSIN(SYSINデータセット名)] [ZUHANDA (図版データセット名)]

2) 機能

日本語保存テキストをフォーマットして体裁を整えた文書の形で NLP に出力する。この時、オペランドの指定により図版出力も可能である。

3) オペランドの説明

データセット名: フォーマットすべき日本語保存テキストのデータセット名を指定する。区分編成の場合はメンバ名も指定する。

SYSIN(SYSINデータセット名): フォーマットの形式指示のための制御文 (PARA 文, ページ形式, 領域定義) を SYSIN データセットとして指定する。これを省略した時は、すべて標準値がとられて出力される。*を指定すると、端末から制御文を入力できる。制御文の入ったデータセットが既存である場合には、そのデータセット名を指定する。

ZUHANDA (図版データセット名): 文書の中に図版を出力する時に、抽出した図版の入っている図版データセット名を指定する。

4) 使用例

・保存テキスト KANJI のメンバ EX2 をフォーマットして NLP に出力する。制御文は、すべて標準値を採用するため指定しない。

NFORM KANJI (EX2)

・保存テキスト KANJI のメンバ EX3 をフォーマットし、図版データセット ZUHAN1 からの図版も組み込んで NLP に出力する。制御文はデータセット FMT.DATA に作成済みである。

NFORM KANJI (EX3) S(FMT.DATA) Z(ZUHAN1)

3. NZEDITコマンド

1) 入力形式

コマンド	オペランド
NZEDIT	データセット名1 データセット名2 [SYSIN(SYSINデータセット名)] [NEW]

2) 機能

KING (グラフ・図形出力)などで作成した図版NLP出力イメージ(順データセット)から図版を抽出し、それを図版データセット(区分データセット)にメンバとして格納しておく。

3) オペランドの説明

データセット名1: 抽出すべき図版の入っている図版NLP出力イメージのデータセット名を指定する。

データセット名2: 抽出した図版を格納しておく図版データセット名を指定する。

SYSIN(SYSINデータセット名): 図版抽出のための制御文(SEL文)をSYSINデータセットとして指定する。これを省略した時は、*が指定されたとみなされ、端末から制御文を入力しなければならない。制御文の入ったデータセットが既存の場合には、そのデータセット名を指定する。

NEW: 図版データセットを新規に作成する場合に指定する。これを指定しない場合は、図版データセットは既存でなければならない。

4) 使用例

図版NLP出力イメージZHNIMGから図版を抽出し、新規作成の図版データセットZUHAN1に格納する。制御文はデータセットSEL.DATAに既に作成してある。

```
NZEDIT ZHNIMG ZUHAN1 S(SEL.DATA) N
```

4. NPLOTコマンド

1) 入力形式

コマンド	オペランド
NPLOT	データセット名 [SYSIN(SYSINデータセット名)] [ZHNIMGDA(図版NLP出力イメージデータセット名)]

2) 機能

PSPのSYSOUTデータセット(順データセット)を入力し、図形をNLPに出力する。この時、オペランドの指定により図版NLP出力イメージを保存することも可能である。

3) オペランドの説明

データセット名: PSPのSYSOUTデータセット名を指定する。

SYSIN (SYSINデータセット名) : 図形出力制御のための図形制御カード (* XY, * ST, * END) をSYSIN データセットとして指定する。これを省略した時は、すべて標準値がとられて出力される。*を指定すると、端末から図形制御カードを入力できる。図形制御カードの入ったデータセットが既存である場合には、そのデータセット名を指定する。

ZHNIMGDA (図版NLP出力イメージデータセット名) : 図版抽出などのため、図版NLP出力イメージを保存しておく場合に、そのデータセット名を指定する。ただし、このオペランドを指定した場合には、NLPには出力されない。

4) 使用例

- PSPを用いた標準形式 Fortran ソースプログラム SOURCE.FORTから図形をNLPに出力する。図形制御カードは、すべて標準値を採用するため指定しない。

```
ALLOC F(FT16F001) DA(PSPOUT1) NE CA T SP(20 20)
RUN SOURCE FORT FIXED
NPLOT PSPOUT1
```

- 既存のPSPのSYSOUTデータセットPSPOUT2から、後に図版抽出をするため、図版NLP出力イメージをデータセット名ZHNIMGで保存しておく。図形制御カードは、データセットPSP.DATAに既に作成済みである。

```
NPLOT PSPOUT2 S(PSP.DATA) Z(ZHNIMG)
```

参考文献

1. 日本語情報システム JEF の利用について、九大大型計算機センターニュース No.220.
2. 武富, 高木, 川崎, 富山, 柳池, 原田, 関, 末永, 清水 日本語情報システム JEF の使用法, 九大大型計算機センター広報, 13, 4, 1980, 406-468.